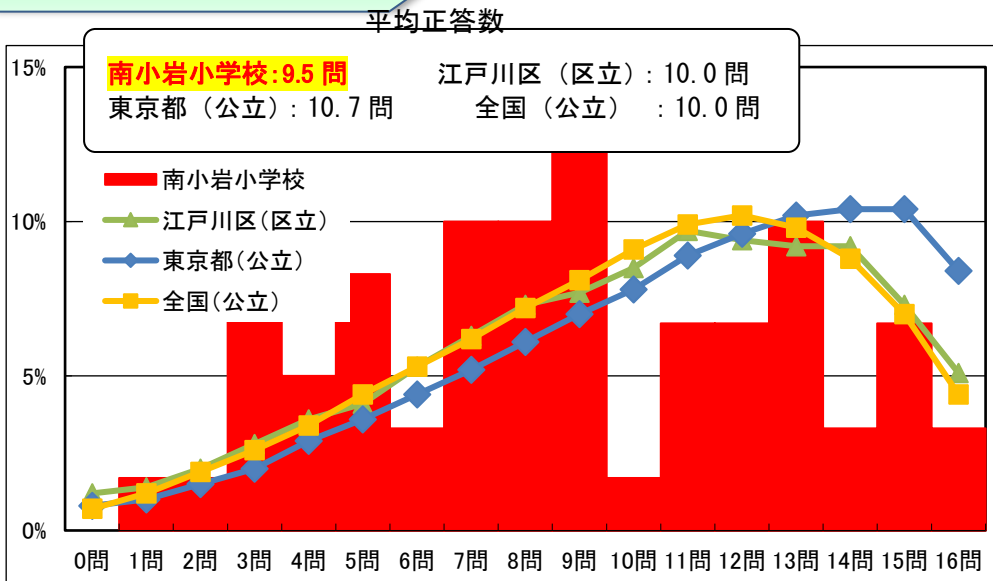


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 南小岩小学校

正答数分布

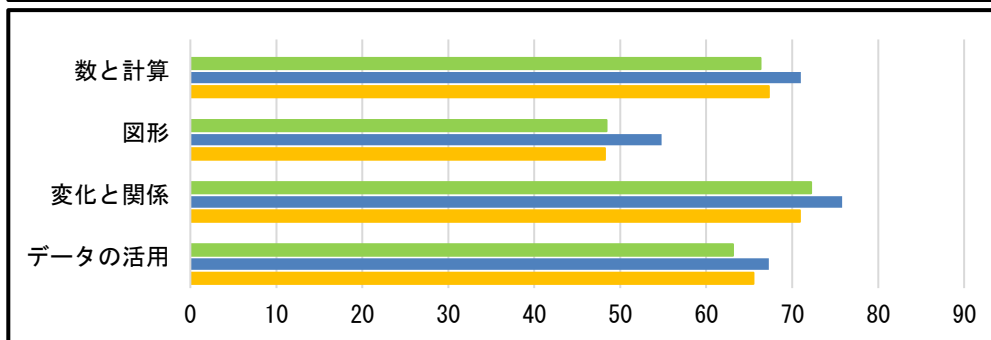
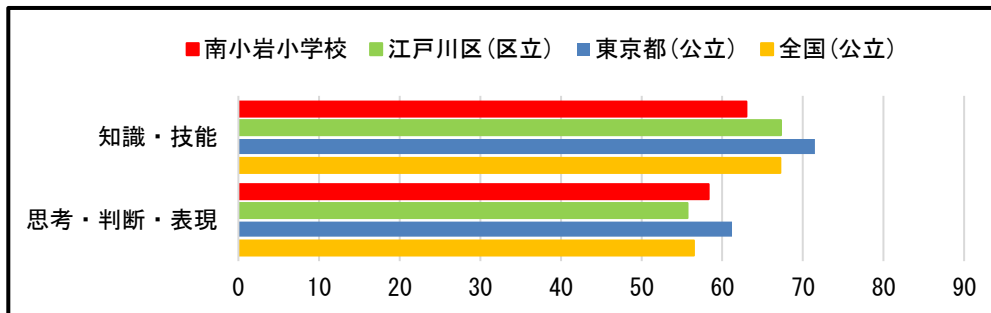


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
南小岩小学校	24.7	15.1	26.1	34.1
江戸川区(区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都(公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国(公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

南小岩小学校	59%
江戸川区(区立)	62%
東京都(公立)	67%
全国(公立)	62.5%
都との差	8ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

- 平均正答率は、東京都では、8ポイントと、前年度と同様に下回る結果となった。問題別では、全問題数16に対し、2問のみ上回る結果となった。
- 算数少人数指導においては、知識・技能はもちろん、思考力・判断力・表現力等の向上を図るために、数学的活動をより工夫し、児童一人ひとりの主体的な学びを促していくことが大切である。前時の振り返りと既習事項の定着を随時確認し、課題に取り組んでいく。また、日頃から条件過多の問題に取り組ませ、問題を解くにあたって必要な情報を資料から適切に取り取り、正しく立式する力を高めていく。その上で、解き終わった後に再度考察する経験の積み重ねが必要であるとする。